



新年度がスタートして1ヶ月がたちました。

4月9日(月)、148人の新入生の皆さんを迎え、第40回老上中学校入学式を挙行了しました。新入生呼名の際に返事をしている一人ひとりの表情から、これから始まる中学校生活への期待が強く感じられました。また、在校生の皆さんも温かいまなざしで新入生を迎え入れるとともに、上級生としての新たな意気込みを胸に新学期をスタートした様子でした。



さて、それから1ヶ月が過ぎました。新しい学年の雰囲気にもすっかり慣れてきたようです。地域では、夢街道あいさつ通りの取組が本格的に始まりました。あいさつは、人と人との結びつきを深めるためになくてはならないものです。本校の伝統でもある「あいさつから始まる学校づくり」を本年度も皆さんとともに大切にしていきたいと思っております。

効果的な学習方法を考えましょう。

ドイツの心理学者エビングハウスによると、人は記憶したものを1時間後に56パーセント、1日後には74パーセントも忘れてしまうとのこと。個人差はあると思いますが、毎日、学校で学習したことをその時は完ぺきにおぼえたつもりでいても、1日たつとその4分の3を忘れてしまうなんてもったいないですよ。でも、もう一度おぼえなおす取組をおこなうこと、つまり、復習や反復練習をすることで、記憶力を強化することができるのです。ただ単に漢字や単語を書く、計算をくりかえすということよりも、その意味は何なのか、なぜこういう答えになるのかということ考えたり、もう少しこのことを知りたいなど調べてみたりすることで、おぼえたことにイメージをもつことができるようになり忘れにくくなります。では、このおぼえなおす取組はどうやって進めたらいいのでしょうか。学校では、学校図書館を活用しましょう。本校の学校図書館は、多くの方々のご協力により、たいへん利用しやすく整備されています。開館時間中の来館人数も多く、おぼえなおす取組に必要な読解力を身につけるために最適な場所です。そして、帰宅後は家庭学習の時間を毎日必ず確保してください。1日の学習内容をもう一度家庭でふりかえること、自主学習ノートをまとめて調べ学習を充実させること等の積み上げは確実に自分の記憶力を高めることにつながります。



本校では、朝と帰りの短学活の前に、「考動タイム」という時間を設けています。学校での学習内容と家庭での自主学習の取組をつなぐ架け橋になるのが、この考動タイムの時間です。自分にあった効果的な学習方法について、お家の方や先生と一緒に考えていきましょう。そして、実際にやってみましょう。まさに、「継続は力なり」です。

4月18日(水)、滋賀銀行の地域社会貢献活動に基づき、校区内の岸本工業様より「子どもたちの学びや成長を応援する物品」として、スピーカー機材一式を寄贈していただきました。老中祭体育の日をはじめ様々な学校行事を中心に活用させていただきます。ありがとうございました。

